

2017年5月9日

テストマーケティング株式会社

**国内医療用医薬品 54 領域の市場動向と将来予測を分析。2016 年の市場は 8 兆 5,573 億円。2026 年市場は 8 兆 3,670 億円と予測
—抗癌剤は 1 兆円を突破。2026 年まで成長が期待される領域は ADHD 治療剤、認知症治療剤など 28 領域—**

テストマーケティング株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：金塚進）は「医薬品市場へのアクセス 2017」において国内医療用医薬品市場 54 領域（国内医療用医薬品販売高 97.5%をカバー）の販売動向と将来予測について領域別調査を行いました。

【調査概要】

1. 調査対象期間：2017年2月～4月
2. 調査対象領域：54領域（3頁参照）
3. 出荷ベースによる販売高にて算出

【調査結果サマリー】

- 2016年における国内医療用医薬品総販売高は対前年比99.9%、8兆7,800億円、調査対象54領域の総販売高は対前年比99.8%、8兆5,573億円とともに僅かではあるが前年実績を下回っている

2015年よりも縮小幅が大きかった領域市場は高血圧症治療剤6,519億円（81.9%）次いで狭心症246億円（87.9%）、前立腺肥大症治療剤854億円（86.5%）でした。54領域中15年比でマイナス成長となった領域は26領域となっています。マイナス成長となった領域では上位ブランドにおけるジェネリック医薬品の市場浸透や、製品ライフサイクルの衰退期を迎えている製品群により市場構成されていることで市場が縮小しています。一方、15年比で成長を見せた領域は28領域となっており、抗癌剤市場は1兆497億円（112.6%）と1領域で1兆円を突破する巨大市場となりました。

しかし、マイナス成長となった領域には2016年のマイナス幅が1,438億円となった高血圧治療剤などの巨大市場が含まれていることから、調査対象54領域の市場全体は縮小となりました。

□ 2007年からの領域別10年伸長率はADHD治療剤市場が6,975.0%とトップ。領域別市場規模トップの抗癌剤市場は過去10年間で198.2%伸長

2016年のADHD治療剤市場は279億円となり2007年からの10年伸長率は6,975.0%となりました。次いで肝炎治療剤4,393億円(494.2%)となりました。ADHD治療剤市場は2007年国内初となるADHD治療剤「コンサータ」が発売され新たに市場が確立した領域であることから高い伸長率を見せています。肝炎治療剤は「ハーポニー」「ソバルディ」などのC型肝炎抗ウイルス剤が高い実績を上げたことで2015年以降市場が急拡大しています。その他、2007年～2016年の10年伸長率の高い領域はコンスタントに新製品が上市され市場が活性化している肺高血圧症治療剤546億円(410.0%)や、生物学的製剤の実績伸長が著しいリウマチ治療剤2,799億円(395.9%)となっています。抗癌剤市場は1兆497億円と2016年の市場規模はトップでしたが、10年伸長率のランキングで198.2%と12番目の伸長率となりました。

□ 調査対象54領域の2020年市場規模は8兆1,584億円(16年比95.3%)に縮小と予測。2026年は8兆3,670億円(16年比97.8%)と見込む

2016年比で2020年も成長が見込まれる領域は、ADHD治療剤425億円(152.3%)、皮膚関連疾患治療剤609億円(131.0%)、心不全治療剤595億円(125.3%)などの29領域でした。ADHD治療剤は国内3剤目となる塩野義製薬の新製品「インチュニブ」が2017年3月に承認を取得したため市場成長が続くと見込まれます。また、皮膚関連疾患治療剤は乾癬治療におけるバイオ製剤の浸透が市場拡大に寄与すると予測されます。心不全治療剤では開発段階のPhIIIに複数の開発品があり「サムスカ」1剤の独占市場から開発品上市後は市場が活性化されることが予想されます。なお、抗癌剤1兆1,500億円(16年比109.6%)、糖尿病治療剤4,850億円(16年比105.4%)などは伸長率が鈍化するものの2020年市場も引き続き拡大することが見込まれます。また、2026年まで成長が見込まれる領域としては免疫チェックポイント阻害剤が注目される抗癌剤、経口剤の実績伸長が著しい多発性硬化症治療剤、患者数が増加し新規作用機序の開発品に期待が寄せられる認知症治療剤などの28領域が成長領域となると予測されます。2026年の抗癌剤は1兆3,500億円、多発性硬化症治療剤は250億円、認知症治療剤は2,000億円の市場予測となっています。一方、2020年に2016年よりも縮小が予測される領域は肝炎治療剤600億円(16年比13.7%)、高血圧症治療剤4,700億円(16年比72.1%)など54領域中25領域と予測しています。2026年の予測では、肝炎治療剤は300億円(16年比6.8%)まで縮小し、糖尿病治療剤、喘息・COPD治療剤治療剤など26領域で市場は縮小すると予測しています。肝炎治療剤は「ハーポニー」などの高い有効率を持つ薬剤による投与患者数の減少や新たに罹患する肝炎患者数が減少していることから大

幅な市場縮小が予測されます。また、高血圧治療剤はジェネリック医薬品への切り替えがさらに進み、長期収載品の薬価も下がることから縮小が予測されます。

【調査対象 54 領域一覧】

高血圧症治療剤	抗癌剤	片頭痛治療剤	消化器・腸疾患関連治療剤	子宮内膜症・子宮筋腫治療剤
不整脈治療剤	癌治療補助剤	認知症治療剤	膝疾患治療剤	産科・婦人科関連疾患治療剤
狭心症治療剤	細菌感染症治療剤	A D H D 治療剤	喘息・COPD 治療剤	麻酔剤
心不全治療剤	ウイルス感染症治療剤	脳血管障害治療剤	感冒関連治療剤	筋弛緩剤
血栓・塞栓治療剤	肝炎治療剤	多発性硬化症治療剤	抗アレルギー剤	免疫抑制剤
肺高血圧症治療剤	真菌感染症治療剤	神経変性疾患治療剤	アトピー性皮膚炎治療剤	眼科用剤
脂質異常症治療剤	うつ病治療剤	消炎鎮痛剤	皮膚関連疾患治療剤	輸液・栄養剤・ビタミン剤
糖尿病治療剤	睡眠障害・不安症治療剤	リウマチ治療剤	腎不全関連用剤	造影剤
痛風・高尿酸血症治療剤	統合失調症治療剤	変形性関節症治療剤	血液製剤・止血剤	生活改善剤
低身長症治療剤	パーキンソン病治療剤	骨粗鬆症治療剤	前立腺肥大症治療剤	ワクチン製剤
ライソゾーム病治療剤	てんかん治療剤	潰瘍治療剤	頻尿・尿失禁治療剤	

【資料体裁】

資料名：医薬品市場へのアクセス 2017

発刊日：2017年4月25日

体裁：A4判 590頁

定価：300,000円（税別）

【問い合わせ先】

テストマーケティング株式会社

所在地：東京都中央区日本橋大伝馬町2-14 パールビル4階

TEL:03-5642-3768 FAX:03-5642-3778

担当者：メディカルディビジョン 内藤 睦美